



武蔵浦和駅周辺地区 義務教育学校の設置について

本日の説明の内容



はじめに 武蔵浦和駅周辺地区の公共施設の整備計画

- 1 現在の学校事情と武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設置
- 2 沼影新設校舎 基本設計
- 3 学校生活イメージと開校に向けた準備（先行事例より）
- 4 新しい学び舎の開校へ向けて



武蔵浦和駅周辺地区の公共施設の整備計画（義務教育学校・スポーツ施設・公園）

■周辺地図と整備施設等

屋内代替プール

(浦和大里小学校敷地内)

- ・沼影公園屋内プールの代替プール（屋内温水25m）
- ・学校利用時間帯以外は市民利用
- ・沼影公園屋内プールの利用形態を可能な限り維持
- ・管理運営については業務委託を検討中

約2,000㎡の公園整備

(旧沼影職員住宅)

- ・令和5年度に地元説明会・実施設計
- ・令和6年度に整備・供用開始予定
- ・遊具広場、休憩広場、多目的広場の3つのゾーンからなる公園整備を検討中



新設スポーツ施設

(現沼影小学校用地の一部)

- ・敷地面積約1.0ha
- ・屋内プールを併設した体育館の整備を検討中（沼影小学校解体後に建設工事開始予定）



参考：大宮体育館アリーナ

約4,400㎡の公園整備

(旧生産緑地)

- ・令和6年度に基本設計を予定
- ・令和7年度に実施設計を予定
- ・令和8年度に整備・供用開始予定



義務教育学校 浦和大里校舎

(現浦和大里小学校)

- ・義務1～4年生約800人が通う校舎（ユニット1）
- ・屋内温水プール整備



義務教育学校 沼影新設校舎

(現沼影公園及び沼影小学校用地の一部)

- ・義務5～9年生約2,000人が通う校舎（ユニット3・4・5）
- ・約3.1haの敷地面積
- ・地上5階建て
- ・市民利用も想定した「生涯の学びの拠点」
- ・防災機能が充実した施設



義務教育学校 内谷校舎

- ・義務1～4年生約800人が通う校舎（ユニット2）
- ・小学生仕様に改修（R9、R10の長期休業中）



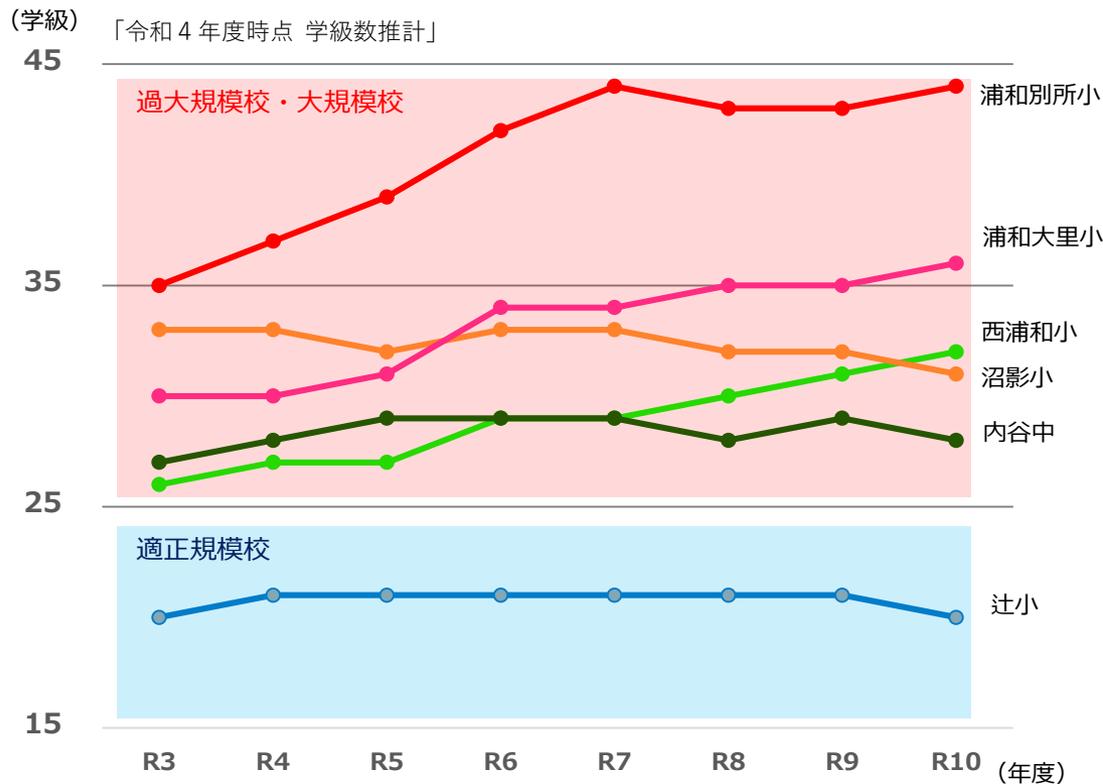
■整備等スケジュール（※令和5年11月現在の想定）

施設等	年度		R5			R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
	11	12	1	2	3									
沼影公園屋外プール						●ありがとうイベント	解体工事							
沼影公園屋内プール						●都市公園条例改正（屋外プール関連の削除）	営業延長（～R7.6末）	解体工事						
約2,000㎡の公園整備						●都市公園条例改正（屋内プール関連の削除）	整備工事	●供用開始						
約4,400㎡の公園整備							基本設計	実施設計	整備工事	●供用開始				
屋内代替プール							基本計画・設計・建設工事等		●供用開始				代替終了後 周辺校共用	
屋外プール代替地検討							候補地検討		基本計画・P-PFI公募・設計・工事（スケジュールは代替地の状況による）					
義務教育学校							実施設計		建設工事	●既存校舎改修	●既存校舎改修	沼影小解体	校庭整備	
新設スポーツ施設							調査研究		基本計画・整備手法の決定・設計等				建設工事等	●供用開始



1. 現在の学校事情と武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設置

(1) 武蔵浦和駅周辺地区小・中学校の学級数の推移 と 教育環境



沼影小学校
～ 休み時間の様子 ～



- 今後も学級数の増加が見込まれている
- 再開発の進む武蔵浦和駅周辺地区では、用地取得が不可能



1. 現在の学校事情と武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設置

(2) 地区の学校規模による課題の一体的解消 と 本義務教育学校の設置に伴う効果

	関係6校	
	小学校5校	中学校1校
教育目標	6年間の教育目標	3年間の教育目標
組織	校長 教頭 教職員	校長 教頭 教職員
学年編制	小1～6年 約600～1,200名	中1～3年 約1,000名
備考	学校施設に余裕がない学校が多い	

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校				
1つの組織・目標で 9年間見通した教育活動		9年間の教育目標		
校長				
【浦和大里校舎】 屋内プール設置 	【内谷校舎】 小学生仕様に改修 	【沼影新設校舎】 		
ユニット1 副校長 教頭 教職員	ユニット2 副校長 教頭 教職員	ユニット3 副校長 教頭 教職員	ユニット4 副校長 教頭 教職員	ユニット5 副校長 教頭 教職員
1～4年 約800名	1～4年 約800名	5～9年 約700名	5～9年 約700名	5～9年 約700名
地区の学校規模による課題の一体的な解消				



2. 沼影新設校舎 基本設計

(2) 沼影新設校舎の内観イメージ

教室と廊下を一体的に活用した学び



可動間仕切りをオープンにし、ユニットや学年を越えて学び合う様子

児童生徒が毎日行き交う校舎の中心に位置づけられたラーニング commons



興味関心をもった時に、気軽に立ち寄る様子

調べ学習やディスカッションをしている様子



2. 沼影新設校舎 基本設計

(3) 教室のレイアウトイメージ①②

【右の俯瞰図の①～⑥から見たイメージ】



① 1クラスで独立した利用イメージ

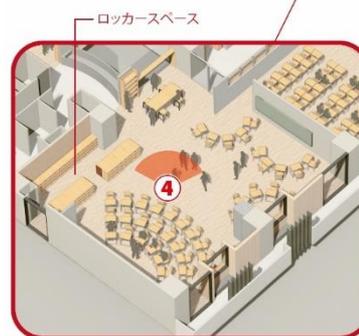
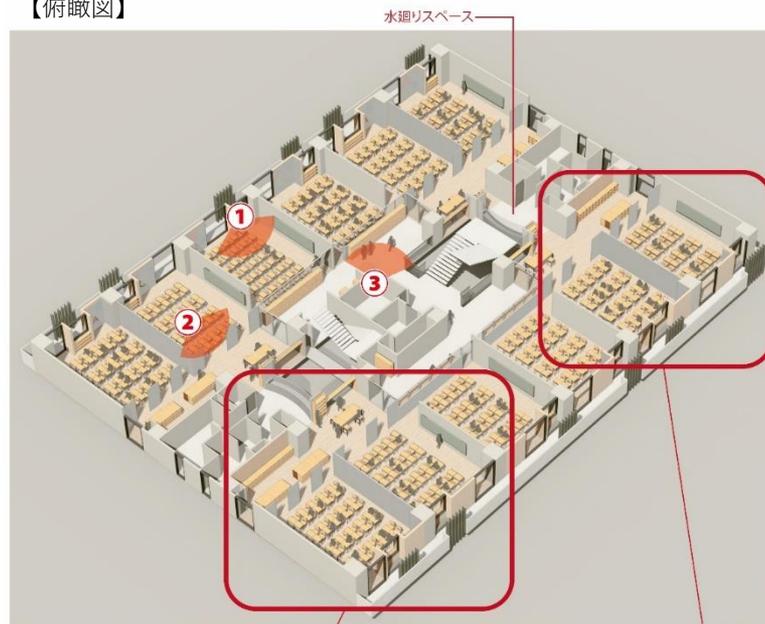
他学級との交流の場になる水廻り空間

学級毎の掲示の場



② 同学年の他学級と程よい距離感をつくる共用部

【俯瞰図】



可動間仕切りによりオープンな利用方法のできる教室計画



2. 沼影新設校舎 基本設計

(3) 教室のレイアウトイメージ③④

【右の俯瞰図の①～⑥から見たイメージ】



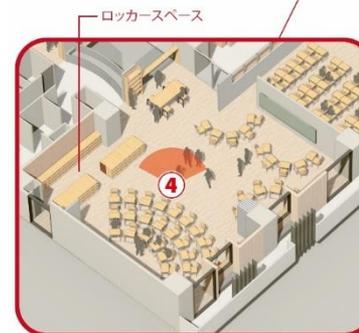
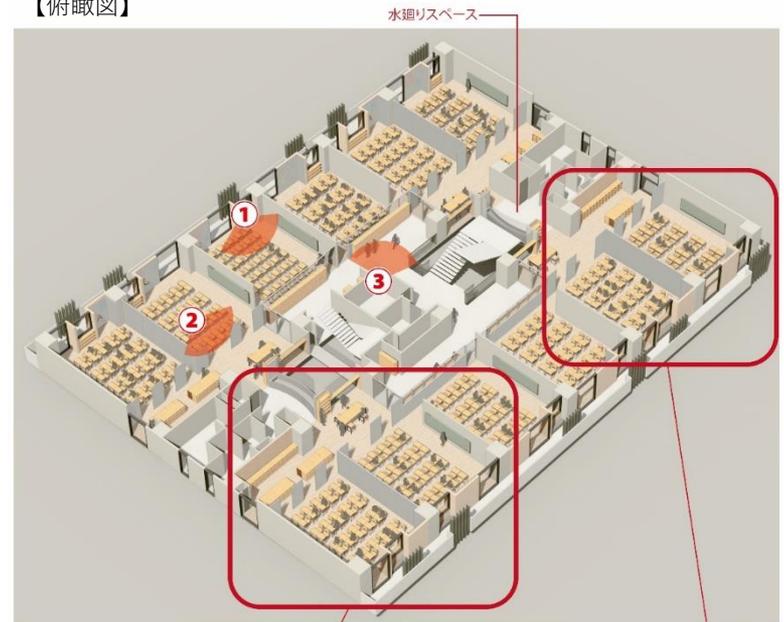
③ 教室間移動に配慮した共用部ロッカースペース

備品置き場



④ 児童生徒の居場所となるスペース

【俯瞰図】



可動間仕切りによりオープンな利用方法のできる教室計画



2. 沼影新設校舎 基本設計

(3) 教室のレイアウトイメージ⑤⑥

【右の俯瞰図の①～⑥から見たイメージ】

窓側に居場所になる
ホワイトボードコーナー

教材コーナー



⑤ 窓側の壁面もホワイトボードやスクリーンとして利用

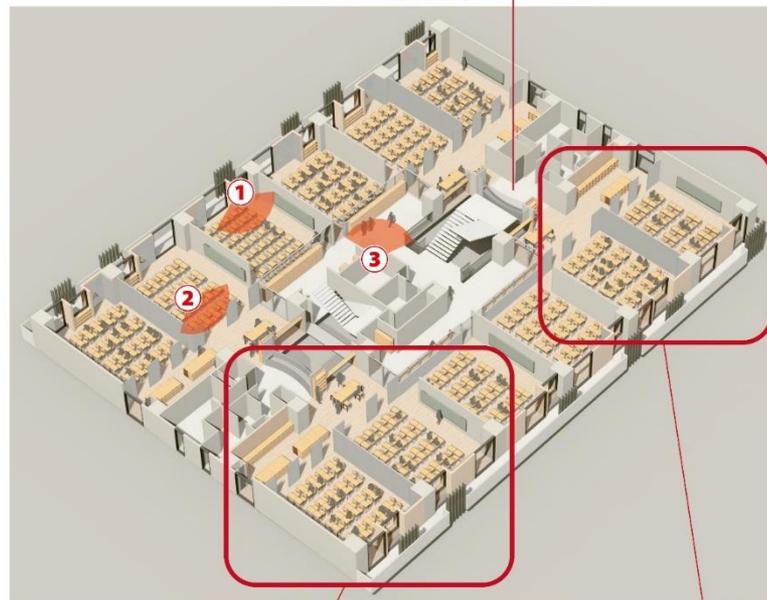
掲示・板書できるパーティション



⑥ パーティションを利用したグループ学習

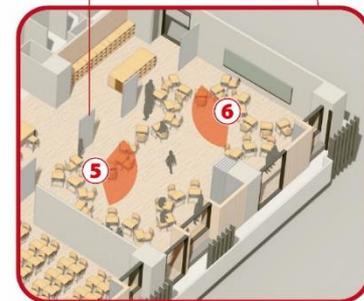
【俯瞰図】

水廻りスペース



ロッカースペース

教室の利用方法に合わせて設え
を変更できるパーティション

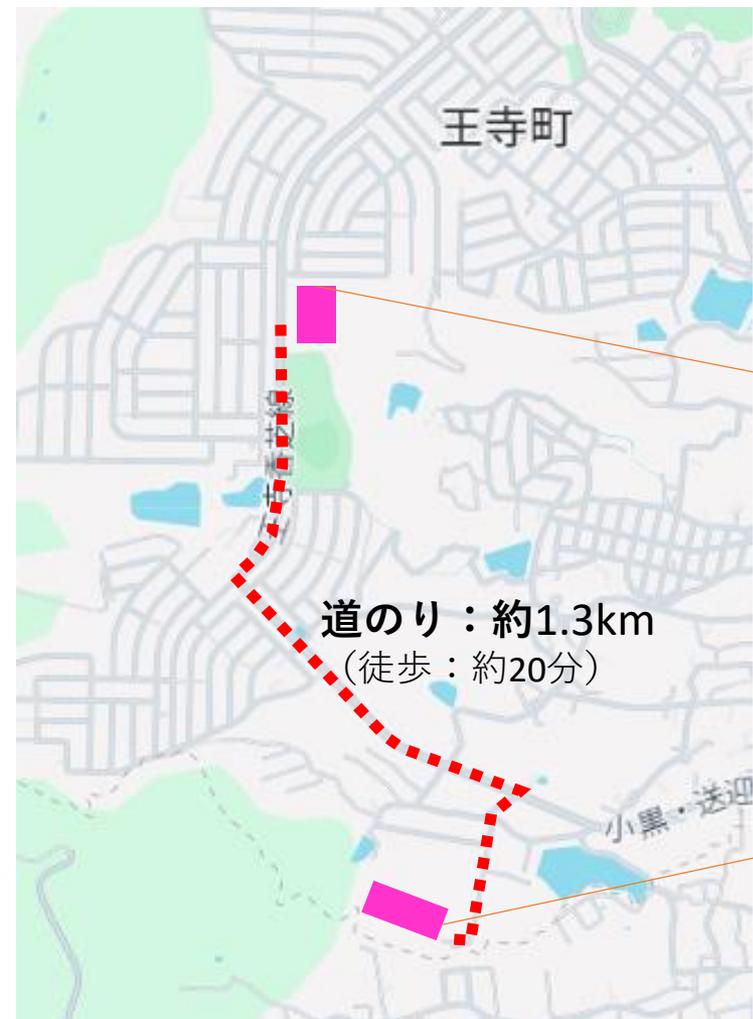


可動間仕切りによりオープンな利用方法のできる教室計画



3. 学校生活イメージと開校に向けた準備（先行事例より）

（1）校舎分離型（複数校舎）の義務教育学校（王寺町立王寺南義務教育学校）



王寺南義務教育学校

1～4年生の校舎（太子学舎）



義務1～4年生 約500名

出典：王寺南義務教育学校HPより

5～9年生の校舎（畠田学舎）



義務5～9年生 約500名

出典：王寺南義務教育学校HPより



3. 学校生活イメージと開校に向けた準備（先行事例より）

（2）節目となる行事（王寺町立王寺南義務教育学校）

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育課程	前期課程（小学校段階） ※小学校学習指導要領を準用						後期課程（中学校段階） ※中学校学習指導要領を準用		
指導計画上の工夫	1～4年生 （習得期）				5～7年生 （充実期）			8・9年生 （発展期）	

上級生が下級生の「あこがれ」の存在なるよう節目を大切に「たて」の関係をつなぐとともに、信頼し合える「よこ（同学年）」の関係をつなぐ。（王寺町義務教育学校設置に向けた基本方針 資料編より）

1年生 入学式



4年生 旅立ち式



6年生 前期課程修了式

7年生 立志式

9年生 卒業式



3. 学校生活イメージと開校に向けた準備（先行事例より）

(3) 異学年交流（王寺町立王寺南義務教育学校）

【全校】	● 全校交流会（1～9年生）
【1～4年】	● 1年生を迎える会（1～4年生） ● レインボー集会※ ₁ （1・4年生、2・3年生）
【5～9年】	● 文化発表会（5～9年生）
【校舎間】	● 朝活動（1・5年生） ● リハーサル登校（4・6年生）

これまでにない様々な学年との交流を実施

※₁ 王寺南義務教育学校独自の異学年交流会の名称

● 全校交流会（大玉転がし）



● 1年生を迎える会



● レインボー集会（貨物列車：2・3年生）



● 文化発表会



● リハーサル登校





3. 学校生活イメージと開校に向けた準備（先行事例より）

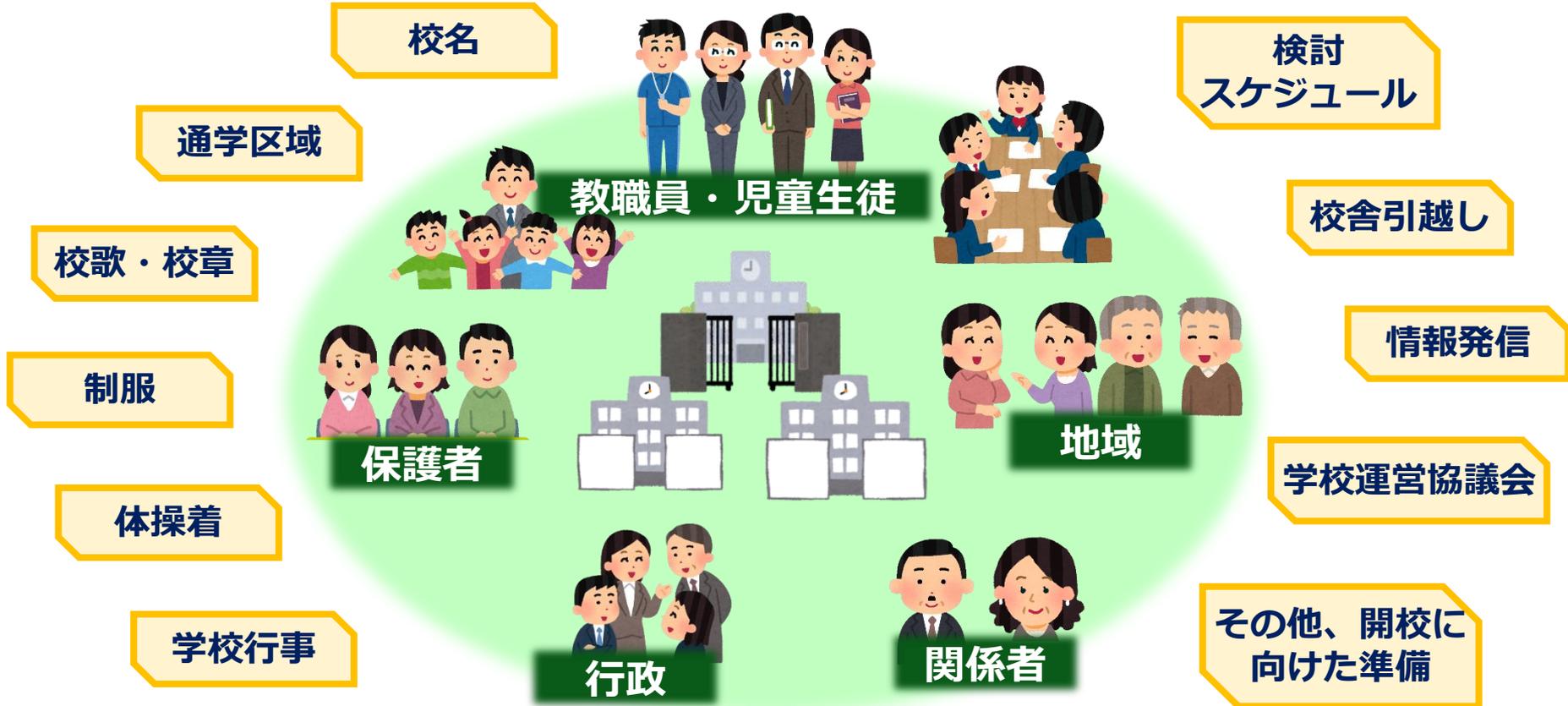
（4）開校に向けた検討（横浜市立緑園義務教育学校）

	検討項目	検討・決定の時期 (横浜市立緑園義務教育学校 令和4年度開校)
通学区域関係	・通学区域	開校6年前検討、5年前決定
校名・校章・校歌関係	・校名（通称）	開校6年前検討、5年前決定（1年前決定）
	・校章	開校2年前検討、開校前決定
	・校歌	開校1年前検討、開校後決定
教育課程関係	・教育課程、学校行事あり方等 ・学校行事予定、日課、時間割等	開校2年前検討、開校前決定※開校後実態に合わせ、実施
学校生活関係	・制服、ジャージ、体操服等	開校2年前検討、1年前決定
PTA関係	・PTAの在り方、運営	開校1年前検討、開校前決定



4. 新しい学び舎の開校へ向けて

(1) 開校準備委員会のイメージ



スケジュールを含め、開校に向けた準備について意見を出し合い、検討していく





4. 新しい学び舎の開校へ向けて

(2) 通学区域 (案)



現在

	小学校	中学校
A1	沼影小	内谷中
A2		内谷中
B1	浦和	内谷中・白幡中
B2	大里小	白幡中
C1	浦和別所小	白幡中
C2		内谷中
C3		内谷中
D1	西浦和小	田島中
D2		内谷中・田島中
E1	辻小	南浦和中
E2		内谷中・南浦和中



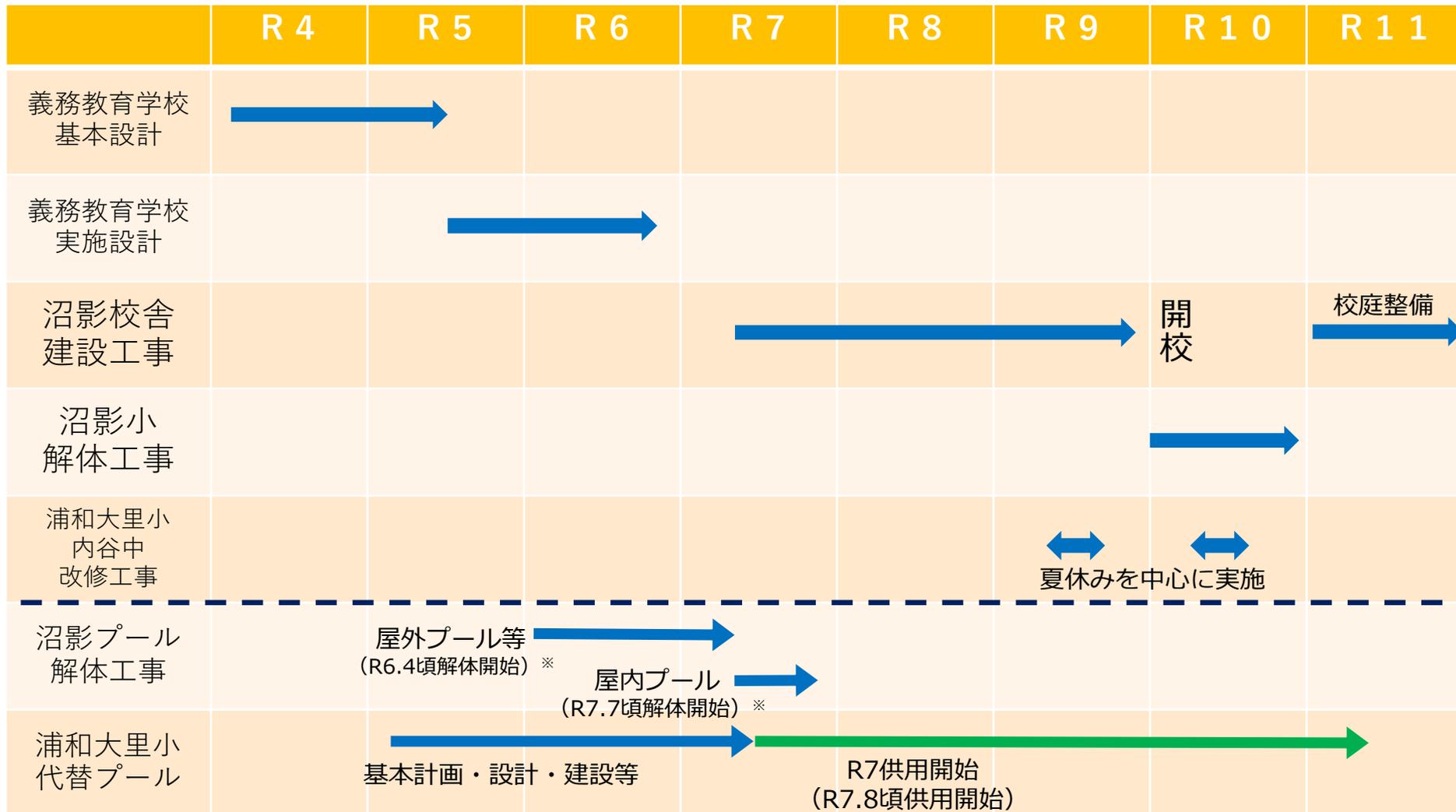
開校後

	義務1~4年	義務5~9年
A1	内谷校舎 (現 内谷中)	沼影新設校舎
A2		
C3		
B1	浦和大里校舎 (現 浦和大里小) 小学1~6年	中学1~3年
B2		
C1	浦和別所小	白幡中
C2		
D1	西浦和小	田島中
D2		
E1	辻小	南浦和中
E2		



4. 新しい学び舎の開校へ向けて

(3) 開校までの工事予定



※ 解体工事の工期および供用開始の時期については、不測の事態が生じた場合、変更となる場合があります。 16